

備北地域医療構想調整会議

会議の実施日時	令和7年3月13日(木) 15:30~16:12
<p>次第2 議事</p> <p>(1) 備北地域医療構想調整会議及び病院・有床診療所部会合同会議 市立三次中央病院の経営強化プラン及び地域医療構想に係る対応方針(2025プラン)の変更について</p> <p>■ 説明者(市立三次中央病院 細美事務部長)から資料1-1及び1-2によって説明し、変更後の両計画について、地域医療構想の実現に沿うものと認め、備北地域医療構想調整会議として合意することが確認された。</p> <p><質疑・意見等></p> <p>○市立三次中央病院は県北の基幹病院なので、いろいろな事情はあると思うがどういう方針を立てて事業計画をするのか、こういう会議で最終結果を説明するだけでなく、備北メディカルネットワーク、三次連携4病院、そういう場でこれからの話、特に回復期になる包括ケア病床をもう今後は持たない、と明言するのであれば話し合いは必要だ。ぜひ、適宜、病院は三次市の中だけでなく、開かれた場で話し合いができるようにしてほしい。(中西会長)</p> <p>○先ほどの説明で当センターの名前を入れていただいた。医師会の会議で、地域の中で医師会、医療センターも協力をしていこうという話があり、しっかり地域の中で連携を進めていきたいと思うので、よろしく。(安信理事)</p> <p>○当院は、当初の予定では52床病床削減をした後に緩和ケア病棟を10床病床作るということだった。今、地域に緩和ケア病棟が必要であるという認識はあるが院内で継続審議となっている。ただ、必要であるというのは共通認識としてみんな持っている。(中島理事)</p> <p>○これまで調整会議は病床数、特に高度急性期、回復期という病床が国が割り当てた形に収斂するようにやってきた。地域の実情に応じ、ぜひ、県北部、非常に医療資源が少ないところなので、皆様と密接な関係の話し合いの中で進めていってほしい。(中西会長)</p> <p>○厚生労働省が全国の医療機関を対象に、入院用のベッドを減らした場合の補助金を倍増するニュースを見た。これまでは200万円ほどだったのが、410万円ぐらいに倍増するという。要は削減をするための支援のようなことがニュースで出ていたが、これについては何か今回のプランに対して影響はあるのか。(今井委員)</p> <p>■医療需要が減って、病床をその地域の実情に応じて削減する場合は、補助金を出しましょうということだ。実際にこういう資金を受けて病床を減らした圏域・地域があると聞いているが、広島7圏域の中ではこれをもらってすぐ減らしたところはない、と理解している。(中西会長)</p>	
<p>(2) 備北地域医療構想調整会議</p> <p>ア 紹介受診重点医療機関の確認について</p>	

■ 事務局から資料2によって議事(2)アについて説明し、市立三次中央病院及び三次地区医療センターが、紹介受診重点医療機関として確認された。

■ 今、庄原赤十字病院はこの重点機関になっていないが、今後色々な話の中で、病院の経営等について話があってという時、毎年やっているの、当てはまればまた申請をしていただけたら良いので、ご承知おきいただきたい(中西会長)。

<質疑・意見等>

特になし

イ 備北メディカルネットワークの医療連携推進区域の変更について

■ 説明者(備北メディカルネットワーク 中西代表理事)から資料3によって議事(2)イについて説明し、備北メディカルネットワークの医療連携推進区域の変更について、地域医療構想の実現に沿うものとして確認された。

<質疑・意見等>

特になし。

※出席委員のわかるものを添付してください。

※報告書は複数枚になっても構いませんが、各協議の内容について項目の整理をお願いします。

※参考となる資料があれば、併せて提出してください。